

## ●地下鉄を活用した物流の社会実験の実施について

地下鉄を活用した貨物輸送については、環境にやさしい大都市圏の新しい物流の在り方として、現在、注目されているところです。

この度、地下鉄を活用した貨物輸送による環境負荷の軽減、都市内交通渋滞の解消等の効果を検証するとともに、地下鉄を活用した新たな物流システムの実現の可能性について検討するため、札幌市と都市型新物流システム研究会とが共同で、地下鉄で貨物の一部を輸送する社会実験を実施いたします。

地下鉄での物流の社会実験は全国初の試みであり、安全面に十分に配慮しながら実施し、地下鉄利用者の皆さまのご理解とご協力ををお願いしたいと考えています。

なお、実験の詳細については現在調整中であり、詳細が固まり次第、あらためて周知させていただきます。

### 1 実験の実施主体

- ・札幌市
- ・都市型新物流システム研究会

(構成員) 東京海洋大学 海洋工学部 流通情報工学科教授 兵藤 哲朗

京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻准教授 山田 忠史

札幌大谷大学短期大学部教授・新学部設置準備室長 平岡 祥孝

北見工業大学 工学部 社会環境工学科准教授 高橋 清

ヤマト運輸(株)北海道ソリューション支店

(株)ドーコン

### 2 実験の概要

ヤマト運輸札幌ベース（厚別区）から都心（大通地区）への1日3便（朝・昼・夕）のトラックによる貨物輸送の内、昼の1便を札幌市営地下鉄での輸送に切り替え。

### 3 実験期間

夏季：8月下旬（夏休み期間終了後）2週間程度

※ 冬季については、夏季の実験結果を踏まえて実施を検討

### 4 実験区間

地下鉄東西線の大通駅～新さっぽろ駅間

※ 大通駅と新さっぽろ駅で荷物の積み下ろしを実施

### 5 市民への周知

広報さっぽろ8月号に掲載するとともに、札幌市のホームページ等で実験の詳細について周知予定

問い合わせ先

市長政策室政策企画部企画課 山本・守屋・中嶋

電話：211-2192